

新技術・情報名		原料タイコンの密植栽培技術	推進部会名	食 品
実施場所		三重県農業技術センター (園芸部)	分類	※ ②

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及特徴

- (1) たくあん漬の消費し好についてみると、350g 前後の1本漬製品の消費が多いので、原料タイコンは700~700gの根重が必要である。
- (2) 上記根重をみたし、加工適性の優れた原料タイコンを生産するためには、生育・収量からみて、10a当り栽植密度が、000株の密植栽培が適当である。
- (3) 収穫時期は、品種にもよるが、本果の主要品種・阿波新選生では、収穫後70日以内の収穫が、目的の根重で収穫でき、生育障害も症状が軽く、発生も少なかった。
- (4) 生育障害は、加工適性を低下させるが、70日以内に収穫すると、症状も軽く、たくあん漬の品質に影響を及ぼさなかった。
- (5) 施肥量は、10a当り、N、26.0kg, P₂O₅、16.0kg, K₂O、25.0kgが生育・収量からみて適当である。
- (6) たくあん漬に加工した場合、栽植密度が、000株は外観、品質よく、食味良好で、加工適性が優れていた。

2) 技術・情報の適用効果

- (1) 原料の密植栽培は、慣行の栽植密度(5300~6000株/10a)より、収量よく品質・加工適性に優れていることから若採りでき、品質のよいたくあん漬が加工できる。
- (2) 適用範囲 果下のタイコン産地
- (3) 普及指導上の留意点
 - (1) 栽植密度は生育障害がないようにして、地域毎に決定すること。但し、000株前後とする。
 - (2) 収穫適期に注意し、生育障害の発生に気をつけ、若採りすること。

2. 具体的なデータ (図表)

第1表 収穫物調査結果 (昭和59年)

収穫日	項目 栽植密度	葉重 g	根重 g	根長 cm		ス 入 リ				生 消 症			
				cm	cm	基%	中%	微%	無%	基%	中%	微%	無%
50日	6000株	298	279	3.8	3.1	0	0	10	90	10	0	30	60
	8000	267	234	3.5	3.1	0	0	10	90	0	20	0	80
	10000	267	177	3.4	2.7	0	0	10	90	10	10	10	70
60日	6000	404	566	4.6	3.9	10	20	30	40	0	20	20	60
	8000	350	440	4.1	3.9	0	10	10	80	0	0	20	80
	10000	344	390	4.0	3.8	0	10	30	60	0	10	30	60
71日	6000	382	1039	5.3	5.0	10	0	20	60	20	20	10	50
	8000	362	871	5.1	4.7	10	10	20	70	0	10	10	80
	10000	326	657	4.7	4.3	10	10	0	80	0	20	0	80
77日	6000	401	1257	5.8	5.3	20	10	50	20	0	0	30	70
	8000	387	992	5.2	5.1	10	20	30	40	0	0	10	90
	10000	339	778	5.1	4.4	0	10	30	60	0	10	10	80

※ 栽植密度は10a当り。

第2表 たくあん漬の分析結果 (昭和59年)

項目 栽植密度	水分 %	乾物 %	PH	屈折計 示度	ホ-X度	塩度 %	酸度 %
6000株	85.8	14.2	4.90	14.5	10.0	4.87	0.71
71日 8000	84.5	15.5	4.85	15.2	11.5	5.89	0.72
10000	82.6	17.4	4.77	16.8	13.0	7.41	0.69

※ 屈折計示度、PH、ホ-X度は搾汁液測定
塩度、酸度は水抽出液測定
塩度: モール法、酸度: 1/10 N NaOH滴定、乳酸換算。

3. その他の特記事項

濃産加工試験成績書 (昭和52, 53, 54, 55, 56, 58, 59年度) 県単